

住友共同電力株式会社向け「トランジション・ローン」の実行について
～国内化学分野初の経済産業省「クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業」～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、住友共同電力株式会社（以下「住友共同電力」）を借入人、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケーション方式による「トランジション・ローン」（以下「本ローン」）に融資を行ないましたので、お知らせします。

本ローンは、経済産業省「クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業」（注1）に国内化学分野で初めて選定されたほか、「経済産業分野におけるトランジション・ファイナンス推進のためのロードマップ」（注2）を活用した国内初のローン案件です。

トランジション・ファイナンスは、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、長期的な移行戦略に則って温室効果ガス削減に取り組む企業を支援することを目的としたファイナンスの枠組みです。本ローンの資金は、住友化学愛媛工場構内におけるLNG発電施設の建設費用（以下「本投資」）に充当されます。本投資は、住友化学株式会社が2021年12月に策定した2050年カーボンニュートラル実現に向けたグランドデザインに沿うものであり、本投資の投資効果として住友化学グループで約65万t/年の温室効果ガス削減を見込んでいます。

当社は、事業者および機関投資家として、2050年度のカーボンニュートラル実現をめざすことを公表（注3）しています。本ローンをはじめとした、トランジション・ファイナンスなどを通じ、機関投資家として低炭素社会への移行に向けた資金供給をよりいっそう積極化することによりCO₂排出量の削減に貢献していきます。

【案件の概要】

借入人	住友共同電力株式会社
実行日	2022年3月31日
資金使途	LNG発電施設の建設
組成総額	80億円
期間	9年
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
第三者評価の取得	<p>本ローンは、株式会社日本格付研究所（注4）、DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社（注5）より、以下、指針・ガイドライン等に関する適合評価を取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際資本市場協会「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック」 ・経済産業省・環境省・金融庁「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針」 ・Loan Market Association (LMA) 等の「グリーンローン原則」 ・環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」

対応する SDGs 目標	
--------------	--

- (注1) 経済産業省「クライメート・トランジション・ファイナンスモデル事業」
<https://www.meti.go.jp/press/2021/02/20220207001/20220207001.html>
- (注2) 経済産業省「経済産業分野におけるトランジション・ファイナンス推進のためのロードマップ」
https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/transition/transition_finance_technology_roadmap_chemistry_jpn.pdf
- (注3) 2021年7月5日付ニュースリリース「CO₂排出量をネットゼロとする目標の設定および脱炭素社会の実現に貢献する取組みについて」
https://www.meijiyasuda.co.jp/profile/news/release/2021/pdf/20210705_05.pdf
- (注4) 株式会社日本格付研究所による評価レポート
<https://www.jcr.co.jp/download/1a4da4b3fda1c65f37df9c5e1644dd65e1be9465dd749ff75a/21d1282.pdf>
- (注5) DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社によるセカンド・パーティ・オピニオン
https://webmagazine.dnv.co.jp/assets/images/sus_list/data/sus_finance_list/pdfreport_j/45.%E4%BD%8F%E5%8F%8B%E5%8C%96%E5%AD%A6_SPO_TF.pdf

以上